

広尾病院総合防災訓練の概要

1 訓練目的

- (1) 震災発生後の初動対応及び院内外の情報管理を適切に実施する。
- (2) 多数傷病者の受入れ対応及び傷病者家族などへの対応を適切に実施する。

2 想定

9月3日(火)午後1時30分頃、東京都内で直下型の地震が発生し、東京都内で最大震度7、渋谷区内のほとんどの地域で震度6強を記録。当院周辺地域でも被害が出ている。

3 概要

- (1) 緊急地震速報に連動した安全確保の呼びかけ
- (2) 災害対策本部を立ち上げ院内情報の管理を行い、災害対応の初期方針を決定し院内へ周知
(原則として院内各部署から30分以内に被害状況報告書が提出され、災害対策本部が情報を整理・分析・決定・周知する)
- (3) 各部署による被害状況の評価と報告及び独自訓練の結果報告、システムダウン時訓練(被害状況については訓練当日までわからないブラインド方式)
- (4) 多数傷病者の受入れ(搬送される患者や対応する職員の状況に応じて患者の受入場所を救急外来から拡大・変更していく)
- (5) 広尾病院へ参集予定の他都立病院職員の受入れ
- (6) 区西南部保健医療圏の医療対策拠点の立ち上げ

【参考】30年度広尾病院総合防災訓練の様子

●災害対策本部



●多数傷病者の受入れ



●E R ・前線指揮所



※30年度の訓練の様子については、「東京動画」もご参考ください。

<https://tokyodouga.jp/rpTpwPqN4Vvk.html>

東京動画トップページ→スペシャル→都の政策
からもご覧いただけます。

